

一貫教育

新篠津の子どもたちの明るい15の春を目指して

～ 新篠津小中学校 一貫教育推進員より ～

中学校体験入学

8月24日(火)に小中一貫教育の取り組みとして、小学校6年生が中学校での生活を体験する1回目の「中学校体験入学」が行われました。



初めのオリエンテーションでは、中学生としての心構えや体験入学の目的などの話を聞き、校舎や授業の様子を見学して回りました。

体験授業は、中学校で理科を指導している池田陸浩先生が、ガスバーナーを使って「危険なものを安全に使おう！」という課題で授業を行いました。

子どもたちは、次のような感想を書いていました。

- 兄がいても、あまり中学校のことを教えてくれなかったから、教室の場所やあぶない物の使い方を教えてもらい、さらに楽しみになった。
- 校舎案内で、中学校生活がより楽しみになった。
- 不安だったことが解消した。理科が楽しかった。
- 楽しくて時間の経つのが速かった。
- 池田先生の授業が楽しかった。
- 入学するのが楽しみになった。
- 実際に授業を受けて、すごく勉強になった。
- 理科の授業がすごかった。火が怖かったけれど、面白かった。



卒業を控えた子どもたちは、中学校への進学に対し、「授業についていけるのか」「どんな先生がいるのか」「小学校とは、どんなことが違うのか」などの不安を持っています。子どもたちの感想を見ると、今回の体験入学により、中学校に対する不安が除かれ、楽しみや期待が膨らんだように思えます。

この後、11月に定期テスト体験、3月に中学校で最後のオリエンテーションを行う予定です。

(文責 中川)

乗り入れ授業 No. 3

体育、図工に続いて8月25日（水）、26日（木）、9月1日（水）の3日間、小中一貫教育の取り組みの1つである3回目の乗り入れ授業が行われました。中学校で社会科を担当している手嶋和之先生が小学校6年生を指導しました。

授業は、歴史の「武士の政治が始まる」部分で、武士の起こりから鎌倉幕府について指導をしました。武士という職業が貴族を守るために生まれてきたことや鎌倉幕府の仕組みなどについて、源頼朝と義経の関係や、幕府がおかれた鎌倉の地形など、様々な話を盛り込みながら指導していました。

子どもたちは、中学校の先生の授業に真剣に参加していました。

手嶋先生は、これからもこの単元を引き続き指導していきます。



今後、冬休みまでに、図工（2回目）、体育（2回目）、英語の乗り入れ授業が計画・検討されています。

こんなに乗り入れ授業をやっている小中学校は、なかなかありません。義務教育学校と言って、「小中学校教育が一つの組織、施設の中で行われる学校」も管内にはありますが、そのような学校を除くと、なかなか多くの時間、乗り入れ授業を行っていくことは、難しいものです。小中学校間の距離や学級

数・児童数、職員の数等によって、乗り入れ授業を行いたくてもなかなか難しい学校がたくさんあります。

新篠津では、学校間の距離も近く、先の中学校体験のように子どもたちが中学校へ行くのも容易です。また、小中学校共に全学年一学級なので、乗り入れ授業も組みやすいのです。もちろん、「義務教育の9年間で子どもたちを育てる」という先生たちの熱意によるところも大きいように思います。年間に中学校の先生が何時間も小学校を訪れ、乗り入れ授業をしている「恵まれた環境」にあることがわかりました。

前にも書いたように「安心して小学校を卒業した子どもたちが中学校に進学していける」よう更に先生たちは、いろいろな工夫・検討をし、努力をしています。

（文責 中川）